

豊岡市の地方創生戦略 (人口減少対策)

○豊岡市の人口予測

豊岡市の人口は、今後も減少が続くものと見込まれています。

2010年(平成22年)…85,592人 2015年(平成27年)…82,250人

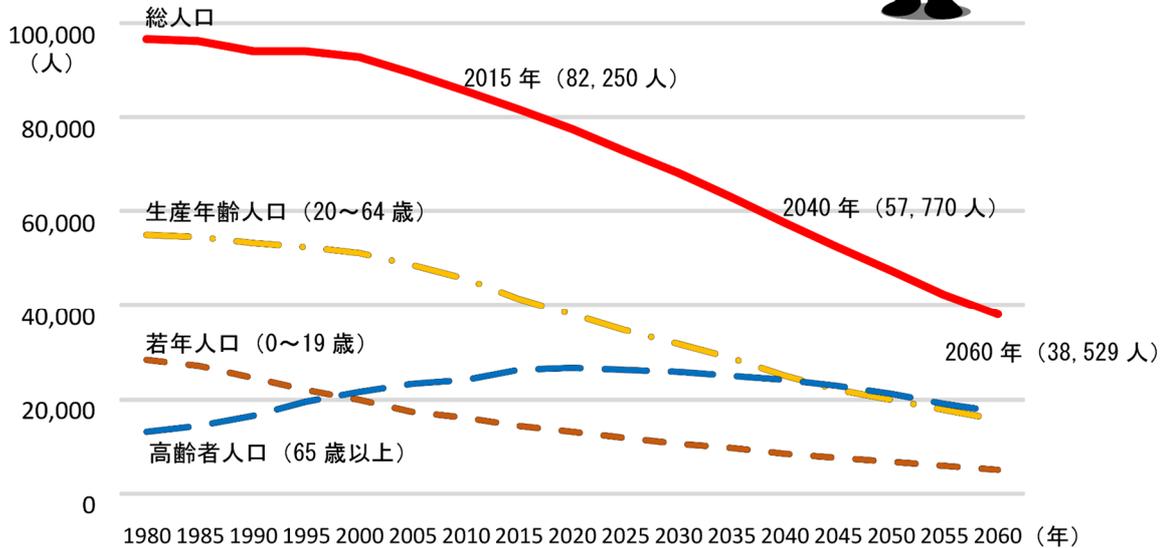
➡ 2040年(令和22年)…57,770人(△27,822人(△32.5%))
2060年(令和42年)…38,529人(△47,063人(△55.0%))

少子・高齢化がさらに進行!

こんな勢いで人口が減っていくんかや! まちの存続にも関わる大きな問題じゃな。

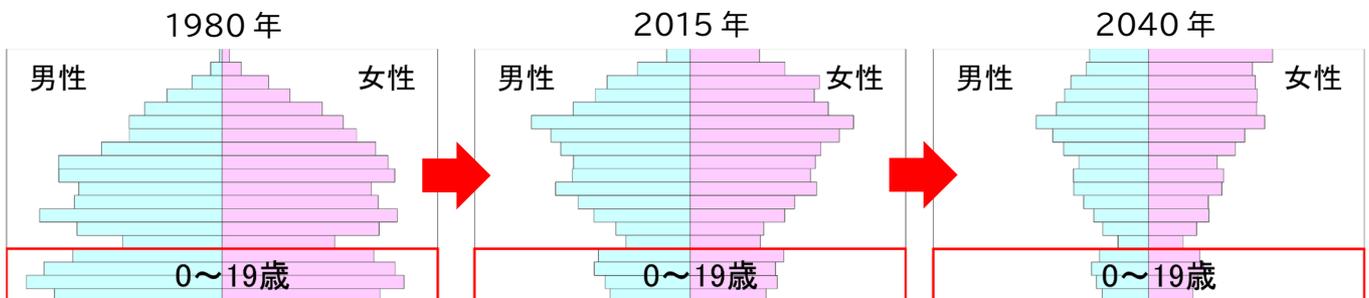


■豊岡市の総人口と年齢3区分別人口の推移(1980~2060年)



(出典：1980~2015年は総務省統計局「国勢調査」、2020年以降は内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局提供人口推計ワークシート(CD-ROM)により作成した独自推計)

■豊岡市の人口ピラミッドの推移(1980年、2015年、2040年)



(出典：国勢調査 2040年は豊岡市推計)

■人口減少の破壊力のイメージ

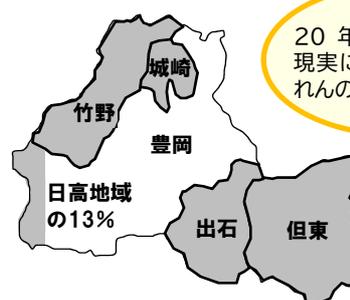
2040年までに約25,000人の人口減少とは、現在の豊岡市の人口規模で言うと、①「豊岡地域の56%」、②「城崎・竹野・日高地域のすべて」、又は③「城崎・竹野・出石・但東地域と日高地域の13%」の人口が消滅してしまうという事態に匹敵します。この人口減少の破壊力を軽視することはできません。



①豊岡地域の56%の人口が消滅



②城崎・竹野・日高地域のすべての人口が消滅



③城崎・竹野・出石・但東地域と日高地域の13%の人口が消滅

20年後にはこれらが現実になったるかもしれんじや。



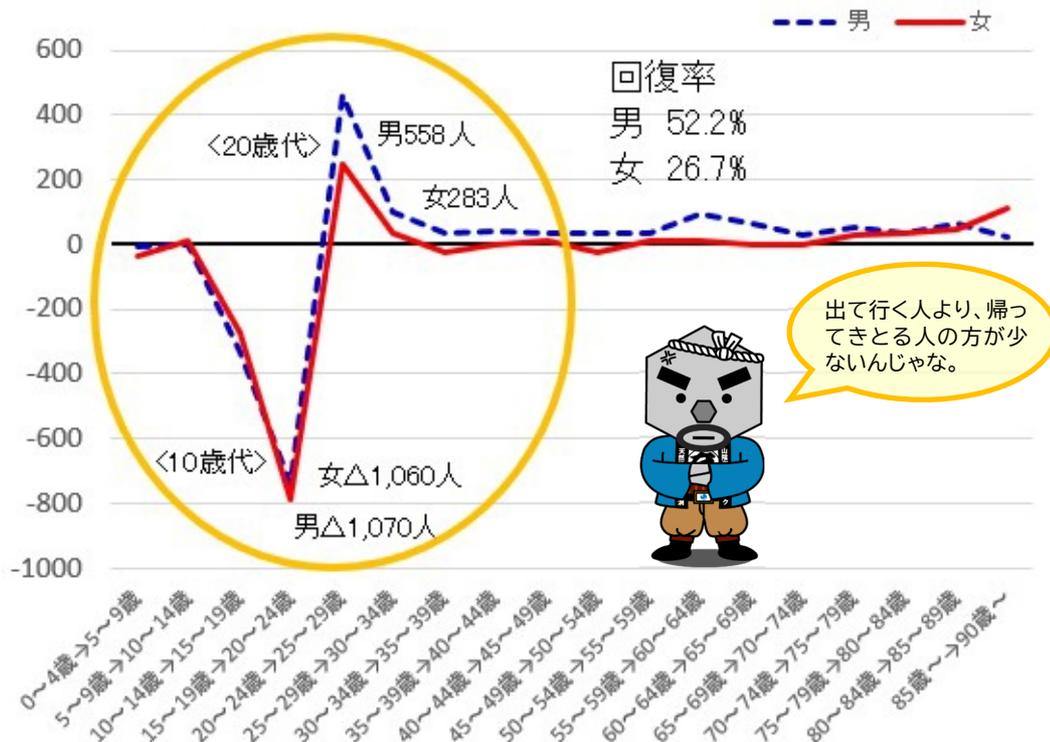
○なぜ人口は減り続けるのか？

豊岡市の人口減少の要因は、主に以下の2つが考えられます。

■要因① 若者の転出超過

年齢階層ごとの転入・転出の状況を見ると、高校卒業時を中心に10代で大幅な「転出超過」(転入よりも転出の方が多い状態)となる一方、専門学校や大学卒業後の20代では「転入超過」(転出より転入の方が多い状態)となっています。

しかし、10代の転出超過が20代の転入超過を大幅に上回っているため、20代を中心に若年層の人口が減少しているのです(10代で失われた人口の20代での「回復率」は約4割)。その他の年齢階層では社会減はほとんど起きていません。



(出典：中嶋圭介氏(神戸市外国語大学准教授)の資料をもとに作成)

さらに、私たちは男性に比べて女性の回復率が大幅に低いことにも着目しました。10代で転出した人のうち、20代で男性は半数が豊岡に帰ってきているのに、女性は4人に1人しか帰ってきていません。つまり、豊岡は「女性に選ばれないまち」となってしまうのです。

■要因② 若者の未婚率の上昇

転出超過による若者の減少に加え、豊岡で暮らしている男女の「未婚率」が上昇しており、結果として出産適齢期の夫婦の数が減少しています。このことから、出生率の低下、さらに少ない子どもたちが将来進学や就職等で転出超過、という悪循環に陥っています。



豊岡市の地方創生戦略(=人口減少対策)の柱は…

若者や女性たちにとって、豊岡に暮らす価値を高めること

○なぜ若者は豊岡を出て、帰ってこないのか？

若者が広い世界を見たいと思ったり都会への憧れを持ったりするのは当然のことであり、高校卒業時に多くの若者が豊岡を離れるのは、ある意味ではやむを得ない面があります。しかし、なぜ 20 代でこんなにも帰ってこないのでしょうか？私たちはこう分析しています。

つまり、「地方は貧しく、つまらない」という非常に強いイメージが、若者を含め多くの人々を閉じ込めているのではないかと、ということです。確かに、東京や大阪といった大都市と比べると、大企業はなく、平均所得の差もあります。有名なお店も少ないし、ライブや展覧会といった、魅力的なエンターテインメントや優れた芸術文化も地方ではなかなか味わえないと考えているでしょう。

さらに、女性たちの中には、自身の母親や周囲の年上の女性たちを見て、豊岡では女性は家庭内でも職場でも男性の従属的・補助的な役割しか得られない、自分はこんな思いをしたくないと思って出ていく人もいるかもしれません。

○では、どうするか？

「豊岡は貧しく、つまらない」というのは、一面の真実でしかありません。豊岡には大都市にはない豊かさがあり、世界に突き抜けようとする魅力的な企業や取り組みがあります。そのことを若者に訴え、「帰ってきたくなるまち」であることを目指していかなければなりません。

若者たちが「豊岡には大都市とは異なる価値観に基づく豊かな暮らしや、やりがいのある仕事がある」と考え、豊岡で暮らし働く若者を増やすことで…

⇒人口減少の量的緩和と、地域社会・地域経済・地域文化のありようと豊岡で暮らす人々の自己イメージの質的転換を同時に図っていきます。

○旗印は、「小さな世界都市 -Local & Global City-」

私たちは、「ローカル&グローバル」という旗印を掲げました。豊岡のローカルなもの、地域固有のものを徹底的に磨き、日本を飛び越えて世界で輝き、規模は小さくてもグローバルな評価をされることで、「大都市は優れていて地方は劣っている」という強いイメージと価値観を壊していこうという作戦です。

豊岡には城崎温泉をはじめとした多様な観光資源、コウノトリの野生復帰の取り組み、世界的な評価を得ている豊岡靴やコウノトリ育むお米など、多くの地域固有のものがあります。また、市を挙げたジェンダーギャップ(男女格差)解消に向けた取り組みや演劇を活用したまちづくりは、日本中から注目されています。

豊岡には、可能性があります。

○地方創生のための具体的な戦略

当面 5 年間の戦略を定めた、『第 2 期豊岡市地方創生総合戦略(計画期間:2020 年度~2024 年度)』を策定しました。この第 2 期で取り入れた新たな視点は以下のとおりです。

(1) 多様性を受け入れるまちづくり

ア 女性に選ばれるまち(ジェンダーギャップの解消)

いきいきと暮らす女性を増やす取り組みを進め、「男性中心の豊岡」からの脱却を図ります。

イ 外国人住民との共生推進

増加傾向にある外国人住民をコミュニティの一員として受け入れ、共生する施策を実施します。

(2) 深さをもった演劇のまちづくり

「豊岡演劇祭」の開催にとどまらず、教育や療育などまちのすみずみにまで演劇が浸透した、「深さをもった演劇のまちづくり」を進めます。

(3) 芸術文化観光専門職大学との連携

2021 年 4 月開校の芸術文化観光専門職大学と、教育や文化・観光分野での連携を進めます。

■第2期豊岡市地方創生総合戦略体系図

上位目的	豊岡に暮らす価値を認め、豊岡で暮らすことに自信と誇りを持って住む人が増えている
戦略目的	暮らすなら豊岡と考え、定住する若者が増えている
主要手段 01	豊岡の暮らしの「豊かさ」が内外に知られている
主要手段 02	多様なライフスタイル・働き方及び多彩な事業活動が実践されている
主要手段 03	いきいきと暮らす女性が増えている
主要手段 04	豊岡で人々が世界と出会っている
主要手段 05	子どもたちのふるさとへの愛着が育まれている
主要手段 06	結婚したいと思う人が結婚できている

2040年の豊岡市の目標人口 ⇒ 62,165人

■政策目標 1…若者回復率(10代の転出超過数に対する、20代の転入超過数の割合)

・現在 39.5% ⇒ 2025年までに 50%に引き上げる

■政策目標 2…合計特殊出生率(1人の女性が生涯に持つ子どもの数)

・現在 1.82人 ⇒ 2035年までに 2.3人に引き上げる

【ぜひこちらをご覧ください！】

○豊岡市の地方創生総合戦略、人口ビジョン

<https://www.city.toyooka.lg.jp/shisei/chihososei/1006999/index.html>

○飛んでるローカル豊岡(先輩移住者ライターが発信する、豊岡市移住定住ポータルサイト)

<https://tonderu-local.com/>

見てくんねえよ！



《問合せ先》 豊岡市政策調整部政策調整課
TEL:0796-21-9022(直通)
E-mail:seisakuchousei@city.toyooka.lg.jp